

報告第12号

株式会社八重山食肉センター経営状況について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により、次の事業計画及び決算に関する書類を作成したので報告する。

- 1 令和7年度（第53期）事業決算書
- 2 令和8年度（第54期）事業計画書

令和8年9月28日提出

石垣市長 中山 義 隆

令和 7 年度

第 5 3 期定時株主総会

日時：令和 8 年 6 月 25 日(木) 10 時 00 分

場所：石垣市役所 大会議室 3

株式会社 八重山食肉センター

株式会社 八重山食肉センター
令和7年度 第53期定時株主総会次第

1. 開 会

2. 挨拶 代表取締役 中山 義隆

3. 議長選出

4. 定足数確認

5. 議案審議

第1号議案 第53期事業報告、監査報告及び決算の承認の件

第2号議案 第54期事業計画及び予算の承認の件

第3号議案 取締役選任の件

その他

6. 閉 会

第1号議案

第 53 期(令和 7 年度)事業報告書

概 要

当期と畜実績は、牛 2, 020 頭で前期比 7 頭増、豚 1,555 頭で前期比 12 頭減、馬 5 頭で前期比 2 頭の増、山羊 311 頭で前期比 92 頭減となっています。

牛と畜頭数については、JA 石垣牛の増頭により前期に引き続き年間 2,000 頭を上回っており、馬・豚についても前年並みを維持しているが、山羊については前年比 23%減と大幅に減少している。原因としては2農家離農等による飼養頭数減少が考えられる。

部分肉加工については、今期実績 955 頭で前期比 51 頭増。と畜頭数に対する加工仕向率 47.2%、前期比 2.7%増となっております。

当期売上高については、288, 780, 620 円で前期比 80, 107, 335 円(38.4%)増となっております。売上内訳は、屠畜売上 108, 628, 054 円、内臓販売売上 61, 973, 987 円、カット売上 44, 860, 838 円、

肉販売売上 39, 416, 429 円、死亡牛受入売上 11, 494, 751 円、その他売上 22, 406, 561 円(牛雑脂肪販売、施設維持管理費、保管料、内臓処理料 等)となっており、4 月のと畜料、11 月の死亡牛利用料の価格改定の影響もありますが、カット収入、内臓販売、肉販売等堅調に推移し当期売上高は大幅な増となっております。

販売費及び一般管理費合計 67, 826, 138 円で前期比 6, 352, 322 円(10%)増。増加理由として①新規導入した機械の減価償却費と②給与改定による人件費が増えたことが影響している。

製造原価については、252, 565, 914 円で前期比 56, 626, 766 円(28.9%)増となっている。増加理由として①材料費、②人件費、③修繕費、④残渣運搬料、⑤リース料の増加が影響している。また、引き続き節約に取り組んでいる燃料費・電力費については、前期と比較すると燃料費は 132, 829 円減少しているが、電力費が 1, 211, 081 円増加しております。

電力費の増加理由として処理室高温による作業環境改善の為置き型クーラー5 台導入及び台湾輸出に向けた室温管理による影響が考えられる。

売上総利益から販売費及び一般管理費を差引いた営業損失は 31, 611, 432 円で前期比 17, 128, 247 円(35.1%)減少しており、営業外収益 430, 589 円と営業外費用 2, 186, 288 円を算定した経常損失は 33, 367, 131 円となっており、特別利益 11, 579, 058 円、特別損失 2, 139, 996 円、法人税等を算定した当期純損失は 24, 108, 069 円、前期比 8, 208, 292 円減となっています。

当期は、売上高合計が前期比で大幅に増加しましたが、売上げ拡大に伴う材料費の増加に加え、物価高騰及びエネルギーコスト上昇の影響、給与改定による人件費の増加、ならびに台湾輸出に向けた取組み等、製造原価・販売費及び一般管理費の各種費用も増加しており、今期においても赤字計上となっております。

台湾輸出認定取得に向けた状況としまして、污水处理施設や病畜棟の改修、運営体制整備に係るソフト面の構築及び各種書類の作成・整理を進めており、関係機関との確認・協議を行い当初指摘のあった 46 項目については概ね改善が済み、台湾要綱に沿ったハード・ソフト面の改善に取り組んでおります。

株式会社 八重山食肉センター
代表取締役 中山 義隆 殿

監 査 報 告

監査役は、令和7年4月1日から令和8年3月31日までの第53期事業年度の職務執行を監査いたしました。その結果につき下記のとおり報告いたします。

1. 監査の方法

私たちは、取締役会に出席するほか、総務部長等からその職務の執行状況を聴取し、業務及び財産の状況を調査して、事業の報告を求めました。また、会計帳簿等の調査を行い、当該事業に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本）等について検討しました。

2. 監査の結果

- （1）会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- （2）計算書類は、法令及び定款に従い、収支及び事業活動の状況並びに財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- （3）事業報告書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- （4）取締役の職務執行に関する不整の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はありません。

令和 8 年 5 月 28 日

株式会社 八重山食肉センター

監査役

監査役

決 算 報 告 書

第 53 期

自 令和07年04月01日
至 令和08年03月31日

株式会社八重山食肉センター

貸借対照表

令和08年03月31日 現在

株式会社八重山食肉センター

(単位：円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	41,256,278	【流動負債】	52,525,886
現金及び預金	11,638,156	未払金	39,946,521
屠畜等未収金	28,974,091	未払費用	3,737,609
前払金	300,000	未払法人税等	180,000
立替金	344,031	未払消費税等	7,865,500
【固定資産】	52,399,393	預り金	796,256
有形固定資産	37,190,586	【固定負債】	219,045,684
建物	9,762,311	長期借入金	219,045,684
建物附属設備	5,739,556	負債の部合計	271,571,570
構築物	1,635,249	純資産の部	
車両運搬具	2	科目	金額
工具器具備品	1,662,771	【株主資本】	△ 177,915,899
機械装置	12,571,697	資本金	13,350,000
建設仮勘定	5,819,000	利益剰余金	△ 191,265,899
無形固定資産	218,310	その他利益剰余金	△ 191,265,899
ソフトウェア	89,130	繰越利益剰余金	△ 191,265,899
電話加入権	129,180	(うち当期純損失)	△ 24,108,069
投資その他の資産	14,990,497	純資産の部合計	△ 177,915,899
出資金	10,000		
保険積立金	8,452,589		
長期未収入金	6,527,908		
資産の部合計	93,655,671	負債・純資産の部合計	93,655,671

損益計算書

自 令和07年04月01日

至 令和08年03月31日

株式会社八重山食肉センター

(単位：円)

科目	金額	
【売上高】		
屠畜売上	108,628,054	
内臓販売売上	61,973,987	
カット売上	44,860,838	
肉販売売上	39,416,429	
死亡牛受入売上	11,494,751	
その他売上	22,406,561	288,780,620
【売上原価】		
当期製品製造原価	252,565,914	
合計	252,565,914	
売上総利益		36,214,706
【販売費及び一般管理費】		67,826,138
営業損失		△ 31,611,432
【営業外収益】		
受取利息	11,143	
雑収入	419,446	430,589
【営業外費用】		
支払利息	2,186,068	
雑損失	220	2,186,288
経常損失		△ 33,367,131
【特別利益】		
補助金収入	8,692,078	
前期損益修正益	2,886,980	11,579,058
【特別損失】		
損害補償損失	2,139,996	2,139,996
税引前当期純損失		△ 23,928,069
法人税等		180,000
当期純損失		△ 24,108,069

販売費及び一般管理費内訳書

自 令和07年04月01日

至 令和08年03月31日

株式会社八重山食肉センター

(単位：円)

科目	金額	
【販売費及び一般管理費】		
備品・消耗品費	1,640,419	
事務用消耗品費	435,672	
荷造運賃	2,593,569	
広告宣伝費	99,000	
給料手当	20,164,554	
賞与	1,141,200	
法定福利費	5,915,877	
福利厚生費	369,032	
減価償却費	9,530,685	
リース料	1,068,138	
地代家賃	1,018,757	
修繕費	238,500	
通信交通費	661,309	
租税公課	7,993,749	
接待交際費	151,316	
保険料	1,025,292	
研修費	15,300	
管理諸費	1,948,747	
支払手数料	1,880,638	
業務委託料	7,565,684	
雑費	280,416	
退職給与	133,970	
諸会費	46,100	
旅費交通費	1,144,109	
水道光熱費	764,105	
販売費及び一般管理費合計		67,826,138

製造原価報告書

自 令和07年04月01日

至 令和08年03月31日

株式会社八重山食肉センター

(単位：円)

科目	金額	
【材料費】		
枝肉肉仕入高	37,588,701	
内臓仕入	26,143,616	
合計	63,732,317	
【労務費】		
賃金	66,603,862	
賞与	5,871,082	
法定福利費	12,294,424	
福利厚生費	350,289	
退職給与	254,000	85,373,657
【製造経費】		
残渣運搬料	10,242,112	
焼却処分費	8,367,697	
備品・消耗品費	240,590	
支払格付料	1,103,069	
工場消耗品費	4,249,176	
容器包装費	5,836,334	
外注加工費	5,023,963	
電力費	30,854,022	
燃料費	13,255,784	
水道光熱費	4,016,916	
リース料	1,957,746	
修繕費	7,356,617	
租税公課	1,625,694	
雑費	100	
保守管理費	183,600	
荷造運賃	292,010	
通信費	51,836	
衛生管理費	6,111,566	
共済保険料	2,691,108	103,459,940
当期総製造費用		252,565,914
期首仕掛品棚卸高		0
合計		252,565,914
期末仕掛品棚卸高		0
他勘定振替高		0
当期製品製造原価		252,565,914

株主資本等変動計算書

自 令和07年04月01日
至 令和08年03月31日

株式会社八重山食肉センター

(単位：円)

株主資本

資本金

当期首残高	13,350,000
当期変動額	0
当期末残高	13,350,000

利益剰余金

その他利益剰余金

繰越利益剰余金

当期首残高	-167,157,830
当期変動額	-24,108,069
当期末残高	-191,265,899

当期純利益

株主資本合計

当期首残高	-153,807,830
当期変動額	-24,108,069
当期末残高	-177,915,899

純資産の部合計

当期首残高	-153,807,830
当期変動額	-24,108,069
当期末残高	-177,915,899

第54期(令和8年度)事業計画(案)

昨今の当社を取り巻く経営環境は、原油価格の高騰や中東情勢の長期化、世界的な物価上昇、市場動向の変化などにより、光熱費、輸送費、原材料費、衛生資材費等の各種コストが上昇しており、経営への負担が増加している状況にあります。

このような環境変化に対応するため、業務効率化による生産性向上や設備・機器の導入による省力化を図り業務改善を推進することで、作業時間の短縮や残業時間の削減による人件費の抑制を図り、収益性の向上に取り組んでいきます。

また、施設・設備の老朽化が進行していることから、安定した事業運営を行い、食品を取り扱う事業者として、安心・安全な製品を継続して提供するためには、衛生管理体制の維持・強化が不可欠であります。そのため、衛生管理に係る設備の修繕・更新を計画的に実施するとともに、リース制度等を活用しながら設備投資の平準化を図り、財務負担の軽減に努めていきます。

計画的な設備更新及び改修を実施するにあたり、各種設備・機器については定期的な保守点検及び予防保全を徹底し、故障リスクの低減と設備の長寿命化による修繕費の低減を図り、安定した事業運営と経営基盤の強化に取り組んでいきます。

今期のと畜頭数に伴うと畜収入については、牛・豚・山羊・馬ともに前期並みを見込んでおり、収入の増加が見込めないことから、売上高及び収益向上を目的に販売力の強化を図るため国内外における販路拡大を推進していきます。

国内においては既存取引先との取引拡充及び新規顧客の開拓に取り組み、販売数量の増加を目指し、海外販売については、現在輸出施設認定を受けているタイ・マカオにおいて、昨年度は輸出実績が少なかったことから、新規商談の実施や販促イベント等により販路の再構築を進め、輸出版売の再開及び拡大に取り組み、輸出施設認定を見込み台湾及びシンガポールへの販路開拓も推進し、海外市場における販売収入の増加を図ることで、売上向上及び経営基盤の強化につなげていく。

これらの販売拡大によって、加工原料の確保・向上につながることから、加工職人の確保・育成及び技術力向上に取り組み、生産能力及び品質の向上を図っていきます。

国内外の販路拡大を推進することによって、人材育成、生産体制の強化及び原料確保を一体的に推進でき、持続的な売上増加及び収益向上につなげていく。

台湾輸出認定施設の実現に向けては、関係法令や要項に基づく施設整備、機器導入、人材育成及び運営体制の構築を着実に進めるため、石垣市を事業主体として施設改修や必要な機器導入を計画的に進めるとともに、要項に沿った適切な運営体制を構築する必要があり、施設・設備等のハード面整備だけでなく、運営管理体制の強化や職員に対する教育・研修を実施することで制度や基準に対応できる人材育成を推進していきます。

また、本事業を円滑に運営するためには、生産者や関係機関の対応も不可欠であることから、必要な対応事項等についての周知、適切な指導及び情報共有を行い、課題を整理・対応し、台湾輸出施設の認定を早期に取得にむけて尽力してまいります。

当面は、当社を取り巻く経営環境の厳しい状況が続くことが想定されますが、今後もコスト削減と生産性・収益性の向上を図りながら、持続可能な経営基盤の強化に取り組み、地域畜産業及び食肉供給を支える基幹施設としての責務を果たし、安全・安心な食肉の安定供給を通じて、関係機関、生産者及び取引先から信頼される企業運営に努めてまいります。

損益計算書計画(案)

自 令和8年 4月 1日

至 令和9年3月31日

株式会社八重山食肉センター

(円)

科 目	前期決算	当期計画	増減	備 考
売 上 高	288,780,620	328,433,503	39,652,883	
と 殺 収 入	108,628,054	110,015,395	1,387,341	牛2, 028頭、豚1, 500頭、 山羊300頭、馬5頭
内 臓 販 売 高	61,973,987	65,330,400	3,356,413	
カ ッ ト 収 入	44,860,838	49,896,000	5,035,162	880頭×56, 700円(420kg×135円)
肉 販 売 売 上	39,416,429	66,974,339	27,557,910	
死 亡 牛 受 入	11,494,751	12,000,000	505,249	
そ の 他 売 上	22,406,561	24,217,369	1,810,808	
売 上 原 価	252,565,914	269,952,613	17,386,699	
当期製品製造原価	252,565,914	269,952,613	17,386,699	
売上総利益	36,214,706	58,480,890	22,266,184	
販売費及び一般管理費	67,826,138	60,625,190	△ 7,200,948	
営 業 利 益	△ 31,611,432	△ 2,144,300	29,467,132	
営 業 外 収 益	430,589	430,589	0	
受 取 利 息	11,143	11,143	0	
雑 収 入	419,446	419,446	0	
営 業 外 費 用	2,186,288	2,802,047	615,759	
支 払 利 息	2,186,068	2,302,047	115,979	
雑 損 失	220	500,000	499,780	
経 常 損 失	△ 33,367,131	△ 4,515,758	28,851,373	
特 別 利 益	11,579,058	7,000,000	△ 4,579,058	
補 助 金 収 入	8,692,078	7,000,000	△ 1,692,078	
前期損益修正益	2,886,980	0	△ 2,886,980	
特 別 損 失	2,139,996	0	△ 2,139,996	
損 害 補 償 損 失	2,139,996	0	△ 2,139,996	
税引前当期純損失	△ 23,928,069	2,484,242	26,412,311	
法人税・住民税・事業税	180,000	180,000	0	
当期純利益	△ 24,108,069	2,304,242	26,412,311	

販売費及び一般管理費 計画 (案)

自 令和8年 4月 1日

至 令和9年3月31日

株式会社八重山食肉センター

(円)

No	科 目	前期決算	当期計画	増減	備 考
1	備 品 ・ 消 耗 品 費	1,640,419	1,000,000	△ 640,419	
2	事 務 用 消 耗 品 費	435,672	435,672	0	
3	荷 造 運 賃	2,593,569	3,525,486	931,917	
4	広 告 宣 伝 費	99,000	99,000	0	
5	給 料 手 当	20,164,554	20,567,845	403,291	
6	賞 与	1,141,200	1,141,200	0	
7	法 定 福 利 費	5,915,877	3,256,357	△ 2,659,520	
8	福 利 厚 生 費	369,032	376,017	6,985	
9	減 価 償 却 費	9,530,685	9,531,236	551	
10	リ ー ス 料	1,068,138	1,068,138	0	
11	地 代 家 賃	1,018,757	1,018,757	0	
12	修 繕 費	238,500	238,500	0	
13	通 信 交 通 費	661,309	661,309	0	
14	租 税 公 課	7,993,749	7,993,749	0	固定資産税
15	接 待 交 際 費	151,316	151,316	0	
16	保 險 料	1,025,292	1,025,292	0	
17	研 修 費	15,300	15,300	0	
18	管 理 諸 費	1,948,747	1,948,757	10	
19	支 払 手 数 料	1,880,638	4,880,638	3,000,000	
20	業 務 委 託 料	7,565,684	0	△ 7,565,684	
21	雑 費	280,416	280,416	0	
22	退 職 給 与	133,970	0	△ 133,970	
23	諸 会 費	46,100	46,100	0	
24	旅 費 交 通 費	1,144,109	600,000	△ 544,109	
25	水 道 光 熱 費	764,105	764,105	0	
販売費及び一般管理費		67,826,138	60,625,190	△ 7,200,948	

製品製造原価（案）

自 令和8年 4月 1日

至 令和9年3月31日

株式会社八重山食肉センター

(円)

科 目		前期決算	当期計画	増減	備 考
材 料 費		63,732,317	81,835,856	18,103,539	
1	内 臓 仕 入 高	26,143,616	26,247,155	103,539	
2	枝 肉 仕 入 高	37,588,701	55,588,701	18,000,000	
労 務 費		85,373,657	84,817,095	△ 556,562	
1	賃 金	66,603,862	66,129,978	△ 473,884	
2	賞 与	5,871,082	5,871,082	0	
3	法 定 福 利 費	12,294,424	12,214,036	△ 80,388	
4	福 利 厚 生 費	350,289	347,999	△ 2,290	
5	退 職 金	254,000	254,000	0	
製 造 経 費		103,459,940	103,299,662	△ 160,278	
1	残 渣 運 搬 料	10,242,112	10,454,533	212,421	
2	焼 却 処 分 費	8,367,697	8,541,242	173,545	
16	備 品 消 耗 品 費	240,590	240,590	0	
12	支 払 格 付 料	1,103,069	1,107,438	4,369	
13	工 場 消 耗 品	4,249,176	4,303,444	54,268	
6	管 理 諸 費	5,836,334	6,491,402	655,068	包装容器費
	外 注 加 工 費	5,023,963	0	△ 5,023,963	ふるさと納税
3	電 力 費	30,854,022	32,396,723	1,542,701	
4	燃 料 費	13,255,784	13,918,573	662,789	
5	水 道 光 熱 費	4,016,916	4,016,916	0	
7	保 守 管 理 費	183,600	183,600	0	
8	修 繕 費	7,356,617	7,820,269	463,652	
9	共 済 掛 金	2,691,108	2,691,108	0	
10	リ ー ス 料	1,957,746	1,957,746	0	
11	衛 生 管 理 費	6,111,566	7,200,000	1,088,434	
14	荷 造 運 賃	292,010	292,010	0	
15	通 信 費	51,836	51,836	0	
17	租 税 公 課	1,625,694	1,632,132	6,438	
18	雑 費	100	100	0	
総製造費用		252,565,914	269,952,613	17,386,699	
当期製品製造原価		252,565,914	269,952,613	17,386,699	

第3号議案

取締役改選（案）

No	役 職	現取締役		新取締役（案）
1	代表取締役	中山 義隆	石垣市長	留任
2	常務取締役	宮良 直好	石垣市農林水産商工部長	米盛博文 石垣市農林水産商工部長
3	取締役	前泊 正人	竹富町長	留任
4	取締役	仲門 和則	JAおきなわ八重山地区本部長	留任
5	取締役	川満 俊二	生産農家	留任
6	取締役	上江洲 安生	JA石垣牛肥育部会長	留任
7	取締役	仲大 盛吉 幸	生産農家	留任
8	監査役	島袋 伸彦	JAおきなわ八重山畜産振興センター長	留任
9	監査役	横目 剛 弥	竹富町農林水産課長	留任